

学校点描

今年の夏は湿度が高い夏になると、ニュースで注意喚起をしています。部活の顧問には熱中症計を携帯してもらっています。

《M中学校》

NO.6 R5. 6. 21

担当：校長

6月15日（木）午後から授業参観をして、その後壮行式を生徒会主催で行いました。壮行式に向けて、生徒会では昼休み全校生徒を集めて練習をしたり、事前の準備に力をいれてきました。その結果が出た選手の気持ちを鼓舞する壮行式となりました。

地区総体前期大会の結果、団体競技で、サッカーと柔道男子団体が見事優勝に輝きました。卓球男子団体が準優勝、バスケットボール女子が第3位、卓球女子団体が第4位に入賞しました。

個人競技では、柔道男子個人50kg級のK・Kさん、90kg級のH・Rさん、90kg超級のK・Yさんが見事優勝しました。60kg級の柴崎 蓮さん、90kg級の阿部勇真さん、90kg超級の高橋侑太郎さんが準優勝に輝きました。卓球男子個人では、S・Rさんがベスト8になりました。

6月24日（土）、25日（日）は、地区中総体後期大会陸上競技が新庄市陸上競技場で開催されます。

書道の第59回樺墨書院展で、2年生のS・Yさんが河北町教育委員会賞を受賞しました。7月5日～9日にY美術館にて展示されます。

見てくれている人がいる

読み聞かせボランティアの方々の協力のもと、朝、学年ごとに読み聞かせが行われています。日頃、本を読まない生徒も、読み聞かせを通して、本を読むことに興味をもってもらえたらうれしいです。

わたし自身、ある時から図書館に通うようになりました。ある時とは、部活も終えた中学校3年生の夏ごろ、受験に必要な資料を探しに行ったのが始まりで、その時感じた居心地の良さを求め、何回も足を運ぶようになりました。何がそんなに居心地が良いのか。学校にいと、どんな時も、誰かと一緒にいなくてはならない、みんな1人にならないように必死になっているように見えていたわたしは、現実のわずらわしさから逃げるように図書館に通うようになりました。どんな本でも読んでいいよという寛容さで身構えていてくれる図書館の先生もいて、居心地のよさを覚えたのでした。

この感覚は、今もあります。休日になると、O花沢や村山そしてH根の図書館に通います。時にはS市立図書館にも行きます。最近の図書館は、パソコンの仕事用の部屋もあります。

ある日曜日、本当に偶然に、図書館で司書の仕事をしている教え子に出会いました。

その教え子は、とある県内の図書館で、臨時職員として働いていたのです。当時はコロナが流行りだし、コロナで外に出られない分、図書館を利用する人はむしろ増えている感じでした。図書館に行って、毎日、棚の前で新聞を読む人の姿も多く見られます。図書館は、やっぱり本を借りるだけの場だけではなく、人の心をゆったりとさせる場なのです。

公営・民営に限らず図書館では、コロナウイルス発生以来、感染予防のために、返却された本は必ず消毒して棚に戻すことが徹底されています。そのため、通常時より利用者への本の提供が遅くなっていました。その度に利用者からのクレームを、その教え子が受け付けなければなりません。



教え子は、正直、先の見えない状況の中で、対応に追われ、とてもとても疲れていました。それでも、小さいころから母に言われていた「笑顔で人に接すること。」を守りつづけ、利用者の対応を誠実にこなしていました。実は、慣れない仕事を始めたときから、ふとしたことをきっかけに毎朝、新聞を机の上に開いて読んでいたひとりのおばあさんとの交流を続けていました。そのおばあさんに、ほぼ毎日笑顔をつくって「こんにちは！」と言葉を交わすだけでしたが、それでも、いつも「こんにちは」と丁寧に返してくれるおばあさんに、教え子自身が励まされていました。



しばらくして仕事にも慣れた頃、教え子の雇用期間が終わりを迎えました。臨時職員なので、働ける期間が決まっているのです。

いよいよ最後の仕事の日、「このおばあさんとも、もう会えなくなるな。」と寂しい気持ちが、教え子にあふれました。だから思わず「私、今日でここを退職するんです。」とおばあさんに報告をしました。すると、おばあさんは「あなたは、いつも誰にでも笑顔で接していて愛されキャラだから、どこに行っても大丈夫よ！」と言葉をかけてくれたのです。教え子は「ありがとうございます」と言いながら、涙目になって、おばあさんに会釈をし、控え室に駆け込みました。

「この数年、がんばってよかった。わたしのがんばりを見てくれた人は必ずいるんだ。」そう思って、最後の仕事に戻ったそうです。

素敵な話だなあと思いました。

地区総体を最後に部活動を終えた3年生のみなさん、お疲れさま、よくがんばりました。

きりとり

ご意見・ご感想をお願いします。